

議場シネマに関する訂正について

委員会で取り上げました先例自治体の状況の中で、事務局で調査した内容と事実とに相違がございましたので、訂正させていただきます。

第2回委員会で先例自治体の状況として、「【資料4】庁舎利活用における先例自治体の状況」を提示し、ご説明いたしましたが、この中の鳥取市「議場シネマ」についての訂正です。昨年、検討委員会に提示する資料の作成に際し、インターネットを通じた情報収集や鳥取市の担当者に情報を提供していただき資料を作成しましたが、本年3月にこの取り組みを当時、企画・実施されていたとっとり議場シネマ実行委員会の実行委員長からご指摘をいただき、掲載内容と事実とに相違があったことが発覚したものです。

実行委員会の指摘で判明した具体的な相違点ですが、まず、運営体制等について、当初「現在も継続運営している」と説明しておりましたが、平成19年～平成23年までは実行委員会で運営され、その後の運営はされておらず、行政等への引き継ぎもございませんでした。また、上映回数・曜日等については、「不定期に年間10回程度」と説明しておりましたが、実行委員会で運営されていた当時は、土日の2日間で年間5回程度の上映ということでした。そして、集客数については、当初「不明であるが少ない」と説明しておりましたが、実行委員会で運営されていた当時は、土日の2日間 計4回の上映で延べ140人～160人程度であったことが確認されました。その後、平成29年3月に行政主催で一度上映会を行った際の集客数は、正確な数は不明ですが実行委員会が運営されていた当時と比較して少なかったということでした。支所とのセキュリティ分離については、当初、「特になし」と説明していましたが、「閉庁日ということもあり、来場者には非常口から入場してもらうようにしていた」「庁舎への入り口は1

カ所とし、執務室入口にロープパーテーションを設置した。また、実行委員会が誘導係員を配置されていたこともあった」ということでございます。

また、旧議場の改修等についてですが、平成19年～平成23年にかけて実行委員会が映画の上映を行われておりますが、この間、旧議場の改修はされておりました。スクリーンやプロジェクター等の機材は、実行委員会がその都度、持ち込んで上映されていたということです。その後、この旧議場は主として演劇に、一度だけ映画の上映に使用されるようになりますが、その際に鳥取市内で活動する劇団員による作業によって、机や椅子を撤去するなどの簡易改修をされております。さらに、訂正用資料の左から2番目の内容欄でございますが、こちらは再調査の過程で内容の一部に事実と齟齬があることが判明するとともに、掲載していた写真3点につきましても著作権者から承諾を得ず掲載していたことも分かりましたので全て削除いたします。

以上の訂正がございますので、第2回委員会資料から議場シネマに関する事例紹介と議事録の内容を削除させていただき、代わって今回の【資料3】を公開したいと考えております。

なお、この改修に関して、第1回委員会の議事録5ページ2～4行目に「それからあと、鳥取市でございますけれども、こちらについては、旧鹿野町というところの庁舎でございます。こちらは、議場で映画の上映ができるよう改修がなされています。」とありますが、先ほど申し上げたとおり訂正させていただきます。

次に、第3回委員会資料の「【資料3】議場シネマ等の利用客が少ない原因について」です。こちらの資料は第2回委員会におきまして、事務局から「集客数は不明であるが少ない」と説明したことに対して、委員から「利用客が少ない理由を調査して欲しい」旨の発言があり、事務局が調査し、作成したものです。

議場シネマの集客数が少なくなかったことにつきましては、先ほど訂正したとおり

ではありますが、第3回委員会では、議場シネマの集客数が少ない理由といたしまして「開催回によって集客数にはバラつきがある」「上映に関する事前告知の期間が短い場合は、集客数が少なくなることがある」「学校行事と同日に上映する映画の内容が、子供向け・家族向けだった場合は、集客数が少なくなる傾向にある」「エレベーターがないため、足腰の弱い方や車椅子の方が利用しづらい」の4点を挙げて説明しておりました。

しかしながら、これらの実施状況につきましても、実行委員会から指摘を受け、確認をしましたところ、それぞれにつきまして、次のような回答がございました。

「来場者数について、作品や上映作品等によって若干差があるのは確かですが、それでも極端に少ない回はありませんでした。」「告知については、毎回、上映会の1ヶ月前からは実施していました。」「家族向けというのは定義が難しいですが、少なくとも子ども向けの作品を上映したことはありません。また、旧鹿野町からの来場者は全体の2割程度であり、上映会は毎回2日間開催のため、学校行事の影響は小さいものと考えます。」「庁舎にエレベーターが無いのは事実ですが、来場者は20代～30代が多く、高齢者を対象とした上映会ではないため、こういった理由は該当しません。また、車椅子利用者からのお問い合わせはありませんでした。」

以上の回答がございましたので、議場シネマについての記載は削除し、資料名も「【資料3】先例自治体の事例で利用客が少ない原因について」と修正し、議事録の内容も削除させていただき、今回の【資料3】を公開したいと考えております。